

メディア学科

■ 2022年度以降生 ————— 47~49、54~58

【人材養成目的】

メディア学科は、「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」について、1年次からの少人数ゼミと多様な講義などとおして、メディアの社会的機能を知り、報道機関・ネットなどからの情報を的確に読み解く能力や、一市民として自ら情報をどう発信するかなどの知識を身に付けて、マスコミ業界、専門研究職、情報広告関連会社を含む一般企業などにおいて活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できる。（知識・技能）
- ・メディアをつうじて流通する情報を批判的に解釈し、様々な社会的課題等を解決するためにメディアをいかに利用できるかを考え、その考えを論理的にわかりやすく、他者に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・主体的にメディアを利用する能力を身に付け、多様な他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示することができる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

メディアの社会機能とその直面する課題等を理解するために、メディアを多様な観点からとらえる講義科目を配置すると同時に、多様な他者とともにあるべきメディアの将来像を考案し、論理的にわかりやすく他者に伝える能力を持った人材を育成するため、1年次から4年次までの全 Semester において、少人数での演習科目を必修科目（24単位）として設置している。また、幅広い教養を身に付け、多様な他者と協働する能力を養うため、他の学問領域を24単位以上、外国語教育科目を16単位以上履修することを義務付けている。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目では、学生が主体的にメディアの社会的機能を理解し、課題についての解決策を他者とともに考案し、それを伝えることができるような能力の養成を目的として、少人数での討議と協働を中心に、具体的な事例・データ分析や作品制作等に取り組む。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰでは、メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できるようになるため、講義科目等を設置する。科目は内容に応じて「メディアとジャーナリズム」（A群）、「情報と社会」（B群）、「コミュニケーションと文化」（C群）、「共通関連科目」（D群）に分類される。講義科目においても、学生が主体的に他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示する能力を育むために、討議や実習の時間を設けている。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱでは、他者と協働するために不可欠な多様性に対する感性を育み、適切な判断力を養うために、他の学問領域を学ぶ科目を配置している。学生が幅広く選択できるように、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目に区分された講義等を設置している。これらの中には、副専攻制度により履修可能な科目も含まれる。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲでは、グローバル化が進む今日にあって、多様性をもった社会を生き抜くために必須である豊かな国際性を身に付けるため、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語の科目を設置している。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的にメディア学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

メディア

2022年度
以降生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	(A群～D群)	学部共通科目群		英語	英語以外	
24	36以上	4以上	24以上	8以上	8以上	124
	100					

- ①必修科目24単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠはA～D群から36単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから24単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語8単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修すること。ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから100単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

○必修科目（24単位）

1年次「ファーストイヤーセミナー」「メディア学実習」、2年次「メディア学基礎演習Ⅰ、Ⅱ」、3～4年次「メディア学演習Ⅰ～Ⅳ」は、少人数で行われる演習系科目です。登録・履修にあたっては事前説明会を行うので、必ず出席して指示に従うこと。

メディア学科では4年間の学修成果を卒業論文としてまとめることを必修としています。執筆にあたってはメディア学演習の担当教員の指導を受けること。

○選択科目Ⅰ（A～D群36単位以上、学部共通科目群4単位以上）

A～D群は、メディア学の中核となる講義科目であり、その内容に応じて、A群「メディアとジャーナリズム」、B群「情報と社会」、C群「コミュニケーションと文化」、D群「共通関連科目」の4領域に分類されています。これらについては、メディア学全体を広く理解すると同時に、自分の関心テーマに応じて深く系統的に学ぶことが望まれます。

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の5科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目で、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ（24単位以上）

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ（16単位以上）

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

- ・英語については8単位以上履修してください。
- ・英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については8単位以上履修してください。英語以外の外国語でグレードⅠおよびⅡを履修していれば複数の外国語の組み合わせも可能です。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

※卒業要件を満たさない履修例

→ ロシア語入門Ⅰ、コリア語入門Ⅰ、中国語入門Ⅰ、ドイツ語入門Ⅰ（計8単位）

入門Ⅱを履修していないため、卒業要件を満たしません。

- ・「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。

メディア学科

■ 2021～2014年度以降生 ————— 51～58

【人材養成目的】

メディア学科は、「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」について、1年次からの少人数ゼミと多様な講義などとおして、メディアの社会的機能を知り、報道機関・ネットなどからの情報を的確に読み解く能力や、一市民として自ら情報をどう発信するかなどの知識を身に付けて、マスコミ業界、専門研究職、情報広告関連会社を含む一般企業などにおいて活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できる。（知識・技能）
- ・メディアをつうじて流通する情報を批判的に解釈し、様々な社会的課題等を解決するためにメディアをいかに利用できるかを考え、その考えを論理的にわかりやすく、他者に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・主体的にメディアを利用する能力を身に付け、多様な他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示することができる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

メディアの社会機能とその直面する課題等を理解するために、メディアを多様な観点からとらえる講義科目を配置すると同時に、多様な他者とともにあるべきメディアの将来像を考案し、論理的にわかりやすく他者に伝える能力を持った人材を育成するため、1年次から4年次までの全セメスターにおいて、少人数での演習科目を必修科目（24単位）として設置している。また、幅広い教養を身に付け、多様な他者と協働する能力を養うため、他の学問領域を24単位以上、外国語教育科目を20単位以上履修することを義務付けている。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目では、学生が主体的にメディアの社会的機能を理解し、課題についての解決策を他者とともにも考案し、それを伝えることができるような能力の養成を目的として、少人数での討議と協働を中心に、具体的な事例・データ分析や作品制作等に取り組む。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰでは、メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できるようになるため、講義科目等を設置する。科目は内容に応じて「メディアとジャーナリズム」（A群）、「情報と社会」（B群）、「コミュニケーションと文化」（C群）、「共通関連科目」（D群）に分類される。講義科目においても、学生が主体的に他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示する能力を育むために、討議や実習の時間を設けている。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱでは、他者と協働するために不可欠な多様性に対する感性を育み、適切な判断力を養うために、他の学問領域を学ぶ科目を配置している。学生が幅広く選択できるように、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目に区分された講義等を設置している。これらの中には、副専攻制度により履修可能な科目も含まれる。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲでは、グローバル化が進む今日にあって、多様性をもった社会を生き抜くために必須である豊かな国際性を身に付けるため、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語の科目を設置している。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的にメディア学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

メディア

2021～
2014年度生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	(A群～D群)	学部共通科目群		英語	英語以外	
24	36以上	4以上	24以上	12以上	8以上	124
	100					

- ①必修科目24単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠはA～D群から36単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから24単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語12単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修すること。ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから100単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

○必修科目（24単位）

1年次「ファーストイヤーセミナー」「メディア学実習」、2年次「メディア学基礎演習Ⅰ、Ⅱ」、3～4年次「メディア学演習Ⅰ～Ⅳ」は、少人数で行われる演習系科目です。登録・履修にあたっては事前説明会を行うので、必ず出席して指示に従うこと。

メディア学科では4年間の学修成果を卒業論文としてまとめることを必修としています。執筆にあたってはメディア学演習の担当教員の指導を受けること。

○選択科目Ⅰ（A～D群36単位以上、学部共通科目群4単位以上）

A～D群は、メディア学の中核となる講義科目であり、その内容に応じて、A群「メディアとジャーナリズム」、B群「情報と社会」、C群「コミュニケーションと文化」、D群「共通関連科目」の4領域に分類されています。これらについては、メディア学全体を広く理解すると同時に、自分の関心テーマに応じて深く系統的に学ぶことが望まれます。

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の5科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目で、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ（24単位以上）

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ（20単位以上）

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

- ・英語については12単位以上履修してください。
- ・英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハンガール語、韓国語、外国人留学生のみ日本語）については8単位以上履修してください。英語以外の外国語でグレードⅠおよびⅡを履修していれば複数の外国語の組み合わせも可能です。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位の算入します。

※卒業要件を満たさない履修例

→ ロシア語入門Ⅰ、韓国語入門Ⅰ、中国語入門Ⅰ、ドイツ語入門Ⅰ（計8単位）

入門Ⅱを履修していないため、卒業要件を満たしません。

- ・「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10932001	001	ファーストイヤーセミナー	①	勝野 宏史	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②	池田 謙一			
			003	〃	③	小黒 純			
			004	〃	④	伊藤 高史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
	1	10932011	001	メディア学実習	①	池田 謙一	秋2		
			002	〃	②	阿部 康人			
			003	〃	③	河崎 吉紀			
			004	〃	④	伊藤 高史			
			005	〃	⑤	小黒 純			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
	2	10932021	001	メディア学基礎演習 I	①	樋口 摩彌	春2		
			002	〃	②	石田 万実			
			003	〃	③	俣野 裕美			
			004	〃	④	三井 愛子			
			005	〃	⑤	中谷 聡			
			006	〃	⑥	矢内 真理子			
			007	〃	⑦	韓 景芳			
	2	10932022	001	メディア学基礎演習 II	①	樋口 摩彌	秋2		
			002	〃	②	石田 万実			
			003	〃	③	小川 実紗			
			004	〃	④	三井 愛子			
			005	〃	⑤	角田 燎			
			006	〃	⑥	矢内 真理子			
			007	〃	⑦	韓 景芳			
	3	10932031	001	メディア学演習 I	①	休講	春2		
			002	〃	②	伊藤 高史			
003			〃	③	河崎 吉紀				
004			〃	④	佐伯 順子				
005			〃	⑤	小黒 純				
006			〃	⑥	休講				
007			〃	⑦	勝野 宏史				
008			〃	⑧	阿部 康人				
3	10932032	001	メディア学演習 II	①	休講	秋2			
		002	〃	②	伊藤 高史				
		003	〃	③	河崎 吉紀				
		004	〃	④	佐伯 順子				
		005	〃	⑤	小黒 純				
		006	〃	⑥	水出 幸輝				
		007	〃	⑦	勝野 宏史				
		008	〃	⑧	阿部 康人				

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	4	10932041	001	メディア学演習Ⅲ	①	池田 謙一	春2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	休講			
			003	〃	③	佐伯 順子			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	矢内 真理子			
			009	〃	⑨	河崎 吉紀			
	4	10932042	001	メディア学演習Ⅳ	①	池田 謙一	秋2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	休講			
			003	〃	③	佐伯 順子			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	矢内 真理子			
			009	〃	⑨	河崎 吉紀			
	4	10932090	001	卒業論文	①	池田 謙一	集中	メディア学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②	休講			
			003	〃	③	佐伯 順子			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	矢内 真理子			
			009	〃	⑨	河崎 吉紀			
選択科目ⅠA群	1～	10932101		ジャーナリズム史	2	河崎 吉紀	春2	社会・文学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	1～	10932102		メディア史	2	河崎 吉紀	秋2	社会・文学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	1～	10932103		メディア・リテラシー概論	2	松村 菜摘子	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932104		新聞学原論Ⅰ	2	休講			
	2～	10932105		新聞学原論Ⅱ	2	休講			
	2～	10932106		比較メディア論	2	勝野 宏史	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932107		現代メディア・ジャーナリズム論	2	休講			
	1～	10932109		京都メディアの発信戦略と地域貢献	2	休講			
	2～	10932110		ジャーナリズム論Ⅰ	2	小黒 純	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	2～	10932111		ジャーナリズム論Ⅱ	2	小黒 純	秋2		可

メディア

2025～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目 I B 群	2～	10932121	001	ジェンダーとメディア ①	2	俣野 裕美	春2	社会・商学部生のみ登録できる。	※可
			002	〃 ②		佐伯 順子	秋2	社会・商・法学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932122		情報行動論	2	勝野 宏史	春2	社会学部社会・メディア学科生、法学部政治学科生のみ登録できる。	※可
	2～	10932123		環境情報学	2	水出 幸輝	秋2		可
	2～	10932124		映像情報学	2	北波 英幸	秋2	社会・文学部生のみ登録できる。隔週の授業となる。	※可
	2～	10932125		メディア社会論	2	水出 幸輝	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932130		広報情報論	2	休講			
	2～	10932127		世論と社会	2	伊藤 高史	春2		可
	2～	10932128		メディア産業論	2	伊藤 高史	秋2		不可
	2～	10932129		メディア法制倫理	2	伊藤 高史 矢内 真理子	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
選択科目 I C 群	2～	10932141		コミュニケーション論	2	阿部 康人	秋2	社会学部メディア学科生、法学部政治学科生のみ登録できる。	※可
	2～	10932150		メディア文化史	2	佐伯 順子	春2	社会学部生、法学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932143		メディア心理学 I	2	池田 謙一	春2	社会・文・法・政策・心理学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。IとIIはセット登録される。IIはIを履修済みでなければ登録できない。	※可
	2～	10932144		メディア心理学 II	2	池田 謙一	秋2		※可
	2～	10932145		現代文化論	2	阿部 康人	春2	社会・文学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932146		広告論	2	休講			
	2～	10932153		デジタルメディア論	2	阿部 一晴	春2	2022年度以降生のみ登録できる。	可
	2～	10932147		マルチメディア論	2	阿部 一晴	春2	2021年度以前生のみ登録できる。	可
	2～	10932148		国際コミュニケーション論	2	BRIAN COVERT	春2	英語により授業を行う。	可
	2～	10932149		放送論	2	立岩 陽一郎	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
2～	10932151		メディア学社会調査法 I	2	竹本 圭佑	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。メディア学社会調査法 II を登録するには、メディア学社会調査法 I を履修済み、もしくは同時登録すること。	不可	
2～	10932152		メディア学社会調査法 II	2	竹本 圭佑	秋2		不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選 択 科 目 I D 群	2～	10912151	001	社会統計学Ⅰ	①	清水 香基	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
			002	〃	②	武田 祐佳	秋2		
	2～	10912152		社会統計学Ⅱ	2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10912003	052	社会学概論	⑤	阿部 真大 松村 淳	春秋4	メディア学科生はクラス⑤のみ登録できる。	不可
	2～	10932161		社会思想史	2	望月 詩史	秋2		可
	2～	10932501		外国書講読(英語)Ⅰ[メ]	2	俣野 裕美	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
	2～	10932502		外国書講読(英語)Ⅱ[メ]	2	三井 愛子	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
	3～	10912551		外国書講読(ドイツ語)Ⅰ	2	河合 竜太	春2		可
	3～	10912552		外国書講読(ドイツ語)Ⅱ	2	河合 竜太	秋2		可
	3～	10912553		外国書講読(フランス語)Ⅰ	2	大辻 都	春2		可
	3～	10912554		外国書講読(フランス語)Ⅱ	2	大辻 都	秋2		可
	3～	10912555		外国書講読(中国語)Ⅰ	2	李 文	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	3～	10912556		外国書講読(中国語)Ⅱ	2	李 文	秋2		※可
	3～	10912559		外国書講読(韓国語)Ⅰ	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
3～	10912560		外国書講読(韓国語)Ⅱ	2	影本 剛	秋2		可	
4～			メディア学専攻特別講義Ⅰ	2	2022年度以降生のみ登録できる。事前審査が必要な科目である。詳細は『社会学研究科科目(同志社大学大学院)の履修について』(P.85～)を参照すること。事前に決定した科目を大学で一括登録する。			不可	
4～			メディア学専攻特別講義Ⅲ	1				不可	
学 部 共 通 科 目 群 I	1～	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
			002	〃	②	MARTHA MENSENDIEK			
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可
	1～	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可
	1～	10952002	001	教育文化論	①	本間 桃里	春2	2017年度以前生のみ登録できる。	不可
			002	〃	②	沼田 潤	秋2		
1～	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	本間 桃里	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可	
		002	〃	②	沼田 潤	秋2			
選 択 科 目 Ⅱ				▼全学共通教養教育科目	『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること				
				▼免許・資格関係科目	『共通選択科目(P.98～)』を参照すること				
				▼他学部・他学科科目	他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること				
				▼チュービンゲン大学IES科目					
				▼同志社女子大学単位互換科目					
				▼大学コンソーシアム京都単位互換科目	『登録要領』を参照すること				
選 択 科 目 Ⅲ				▼英 語	『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること				
				▼ド イ ツ 語					
				▼フ ラ ン ス 語					
				▼中 国 語					
				▼ス ペ イ ン 語					
				▼ロ シ ア 語					
				▼コ リ ア 語					
				▼日本語(外国人留学生のみ)					
科 自 由				▼自 由 科 目	自由科目(P.105～)を参照すること				

メディア

2025～
2014年度生

